

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

| | |
|-----|---------------------------|
| 団体名 | 認定特定非営利活動法人教育活動総合サポートセンター |
|-----|---------------------------|

| | |
|------------|---|
| 取組の名称 | 「こどもサポート宮ノ下」学習支援事業 |
| 実施場所 | 認定特定非営利活動法人教育活動総合サポートセンター 川崎市高津区下作延5丁目11番8号 |
| 対象地域 | 川崎市内 |
| 対象地域の特色・課題 | 川崎市内の各学校では、校内はもとより、家庭や地域の各団体、教育委員会などの関係諸機関と連携をとりながら、様々な要因で不登校になっている児童・生徒に対し、登校支援や学習支援に努めている。しかし、まだまだ十分な成果を上げているとはいえない状況である。児童生徒の思いに寄り添い、安心して過ごせる居場所づくりや、きめ細やかな教育相談、学習支援の場、機会が求められていると考える。 |
| 取組の趣旨・目的 | 当サポートセンターは、「子たちに力を」を合い言葉に、平成16年度から、学校、家庭、地域および関係諸機関と連携しながら青少年の自立・健全育成を支援することにより、明るく豊かな社会の実現に寄与することを目的としている。「こどもサポート宮ノ下」では、不登校やいじめ、特別な支援を必要とする子どもや保護者に対する教育相談や学習支援を行っている。一対一の学習支援や教育相談の継続により、子どもや保護者の不安に寄り添い、子どもの居場所づくりとともに、自立や社会参加のための支援活動を行っている。 |

| | | | |
|---------------|---|---------------|-----------|
| 実施内容・実施スケジュール | <p>○学習支援・教育相談に関する事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談；児童・生徒、保護者、関係諸機関を対象に隨時実施 ・学習支援；週5日（月～金）、9時～18時 1回60分の一対一での学習 1名につき週2回程度 ・学習支援・相談担当者全体会議 年3回実施（4月・9月・2月） 学習支援担当と相談担当の情報共有により支援の充実を図る。（コロナの感染状況悪化のため2回目は紙面開催） <p>○支援を必要とする子どもの保護者の会 年間3回実施</p> <p>○サイエンスキッズ</p> <p>1月 6回実施 2月はコロナ感染拡大防止のため中止 1月参加者 子ども 49名 保護者 11名</p> <p>○ふれあい体験活動 ものづくり体験 11/6（土）実施 参加者 子ども 10名 保護者 4名 計14名</p> | | |
| 参加者の年代 | 小学生・中学生・高校生とその保護者 | 定員 (1回あたり) | 学習支援 8名程度 |
| 実施頻度 | 週5日実施 1人あたり週2回 | 活動日数 (年間) | 242日 |
| スタッフ体制 | <p>スタッフ；当サポートセンター所員 (川崎市内公立学校退職教職員および当サポートセンター設立の趣旨に賛同する市民)</p> <p>体制；電話等での申込みにより8名の相談担当が教育相談を実施。子ども、保護者との面接後、学習支援を希望する小・中学生に対して、一対一対応で希望する教科の学習支援を実施する。学習支援は相談担当も含め37名の学習支援担当登録者が行った。</p> | | |
| 連携する団体・連携の手法 | <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市立学校との連携。子ども・保護者の承諾を経て、在籍校に毎月出席状況報告書を送り、児童・生徒についての情報を共有し、支援の充実を図る。また、隨時、学校との連絡や情報交換により、児童・生徒の支援につなげている。（必要に応じて市外の学校・私立学校とも連携） ・川崎市総合教育センター 必要に応じて情報交換を行う。 ・各区役所地域見守り担当、SSW、教育相談員などとの連携により児童・生徒への支援を行う。 ・「サイエンスキッズ」は東京応化科学技術振興財団と連携して実施。 | | |

| | |
|----------------|---|
| 取組実施により見込まれた効果 | <p>コロナ禍の影響か、時々登校したりオンライン学習に参加したりしながら通所する子どもが増えてきた。こどもサポートの学習支援は対面学習により人とのかかわりを大事にしてきた。学習がわかる安心感とともに、学習支援者との会話や交流によって子どもが安心して過ごせる居場所となっている。子どもの安心感のために保護者の不安に寄り添う支援も充実を図り、保護者会にも多数の参加があった。また、ふれあい体験活動やサイエンスキッズへの参加希望も多く、子どもや保護者にとって必要感のある取り組みとなつた。</p> <p>学校や関連機関との連携を取りながら、一人一人の子どもにより適した学びの場、居場所を提供するとともに、子どもの自立に寄与していきたい。</p> |
|----------------|---|